



2027年4月期

第1四半期 決算説明資料

株式会社gumi（証券コード 3903） | 2026年9月11日

目次

■ エグゼクティブサマリー	p. 2
■ 業績・財務トピックス	p. 7
■ 各事業の進捗	p.13
■ 業績の推移	p.18
■ Appendix	p.23

■ エグゼクティブサマリー

主力タイトル『オラドラ^(※1)』の伸び悩みに加え、主に暗号資産の評価損約15億円の計上により大幅減益
新作タイトル『ヒロサバ^(※2)』の本格貢献により、通期での収益回復を目指す

(百万円)

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
1,628	△186	△2,018	△1,868

✓ 既存・新作の動向

『オラドラ』が前四半期比で減収。8/6リリースの新作『ヒロサバ』および『オラドラ』1周年施策（Q2）で収益回復を目指す

✓ 営業外要因

暗号資産市況の下落に伴い、主に暗号資産評価損を営業外費用に計上

✓ 重要事項

- 保有暗号資産（FCT・OSHI）の一部取引所における上場廃止・廃止予定等について
 - FCT：MEXC（8/14）での上場廃止を受け、活発な市場の有無や評価方法（評価損等）を検討中
 - OSHI：MEXC（9/12見込）・Gate.io（9/16予定）・BITPOINT（10/28予定）での上場廃止等を受け、同様に検討中
 - 今後の市場環境や検討結果によっては、翌四半期以降の業績・財務状態に重要な影響を及ぼす可能性があります

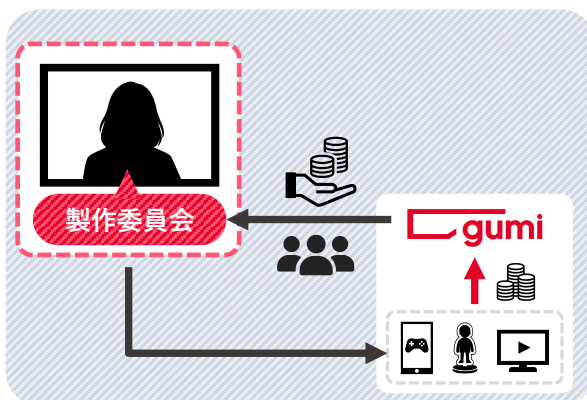
エグゼクティブサマリー Q1における主要トピックス一覧

ネオメディアエンタメ・ネオクリプト両事業で各施策を推進、今後は早期収益化に注力

①	ネオメディア エンタメ事業	p. 5	1) IP獲得	・アニメ製作委員会への出資が決定
			2) ゲーム開発	・『僕のヒーローアカデミア UNITED SURVIVAL（ヒロサバ）』を8月6日にリリース
			3) 周辺エンタメ	・『オラドラ』オリジナルグッズ第4弾発売決定 ・ポイ活「ヨソクヒロバ」が8月20日からグノシー連携 ・株式会社STONE.BとK-POPに関する共同事業契約を締結し、1号案件を開始
②	ネオクリプト事業	p. 6	1) 暗号資産の保有運用	・AIを活用した暗号資産運用を開始
			2) Hinode Technologies	・機関投資家、上場企業向け暗号資産会計管理システムの提供開始
			3) ファンド	・SBIグループと共同で暗号資産運用ファンド「SBI Crypto Fund I」を8月1日に運用開始。大和証券グループ本社を含む複数投資家の出資により始動
③	中期経営計画		・中期経営計画の策定については、SBIグループとの連携による、中期的な成長シナリオ（戦略）について協議を継続 具体的な内容及び公表時期については現時点では未定	

IPを起点とした収益機会の拡大に向け、ゲームにとどまらないエンタメ領域での取り組みを推進

IP獲得



✓ 有力アニメ製作委員会へ参画

出資を通じてIPのゲーム化権を獲得し、自社開発タイトルとして推進

✓ アニメ二次利用（映画・グッズ等）による分配金の獲得

製作委員会への出資を通じ、ゲーム事業に加え、商品化や映像配信等によるマルチユース展開の収益還元を享受

ゲーム開発



✓ 『ヒロサバ』グローバルでリリース（8/6）

KLab社と共同開発した『僕のヒーローアカデミア UNITED SURVIVAL（ヒロサバ）』を世界同時配信

✓ 新規パイプラインを継続開発

「有力IP×当社ゲームエンジン」を活用した次回作以降の新規タイトルを開発・企画中

周辺エンタメ



✓ 『オラドラ』オリジナルグッズ第4弾発売
及びアニメイトフェア開催決定

✓ ポイ活『ヨソクヒロバ』リリース

グノシーとの協業により、新たなエンタメサービスとして提供開始

✓ K-POP領域における新規事業を開始

STONE.Bとの共同事業契約に基づき、K-POP関連プロジェクトへの出資・共同展開を推進

暗号資産運用・web3領域における事業基盤の構築が進展、収益化に向けた取り組みを推進

暗号資産の保有運用



✓ AIを活用した暗号資産運用を開始

当社グループが保有する暗号資産の運用パフォーマンス向上を目的に、AIを活用した運用を開始

✓ AI運用のノウハウを蓄積

運用実績・ノウハウを蓄積し、将来的な事業展開も検討

Hinode Technologies



✓ 暗号資産会計管理システムを提供開始

機関投資家・上場企業向けシステムを開発し、SBI Crypto Fund I への先行導入が決定

✓ バックオフィス業務の効率化提供開始

厳格な会計・監査基準に対応し、トランザクションデータの正確な取得と柔軟なデータ出力を実現

ファンド



✓ 暗号資産運用ファンドを始動

SBIグループと共同で「SBI Crypto Fund I」の運営を8月1日に開始。大和証券グループ本社を含む複数投資家の出資により始動

✓ 運用実績・ノウハウを蓄積

主要な上場暗号資産を対象に複数の運用戦略を活用し、運用実績・データを蓄積。ETF等の個人投資家向け商品開発も視野

■ 業績・財務トピックス

業績・財務トピックス 2027年4月期 第1四半期 (PL)

『オラドラ』の売上減少により減収・減益、新作開発等への投資は継続

✓ **売上高** [1,628百万円 / QonQ △30%]

『オラドラ』のハーフアニバサリーの反動減が主因。8/6リリースの『ヒロサバ』および『オラドラ』1周年施策 (Q2) により回復を図る

✓ **営業利益** [△186百万円 / QonQ 赤字幅拡大]

主力タイトルの減収に伴う売上総利益の減少に加え、新作タイトル開発にかかる先行投資の継続が主因

✓ **経常利益** [△2,018百万円 / QonQ 赤字着地]

営業赤字に加え、暗号資産市況の下落に伴う評価損が大きく影響

(百万円)

	2026年4月期				2027年4月期
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
売上高	1,354	2,496	2,982	2,351	1,628
営業利益	72	△235	293	△47	△186
経常利益	1,234	267	470	197	△2,018
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,247	103	496	△393	△1,868

四半期・累計の前年同期比較

(百万円)

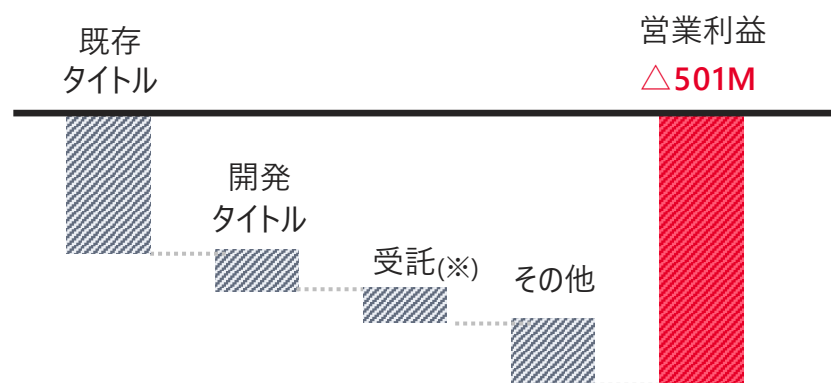
QonQ	累計YonY
△723	+274
△139	△258
△2,215	△3,252
△1,475	△3,115

※QonQはQ4比、YonYは前期比

ネオメディアエンタメ事業は営業赤字となる一方、ネオクリプト事業は営業黒字を確保

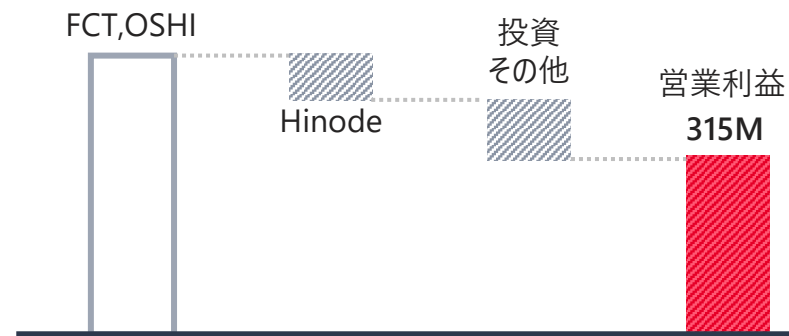
営業損益（イメージ図）

ネオメディアエンタメ事業



- ✓ Q4 に実施した『オラドラ』ハーフアニバーサリーの反動等による売上減少に加え、開発タイトルの費用先行等により、営業損失は前四半期比で拡大

ネオクリプト事業



- ✓ ファンド運営開始など事業基盤の構築を進める中で、各種運用・事業費用が発生したものの、営業黒字を確保

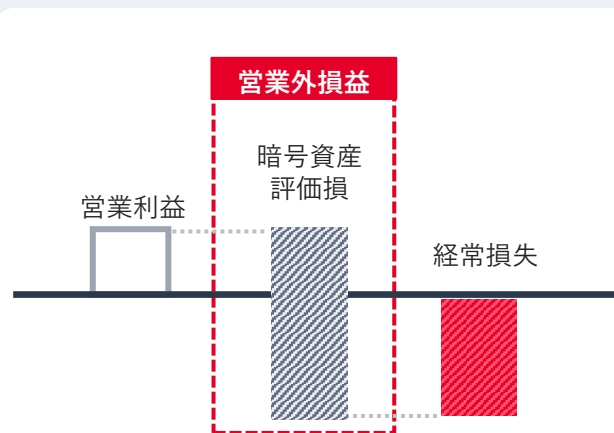
ネオクリプト事業は営業黒字を確保したものの、
暗号資産市況の下落等に伴う営業外費用の発生により経常損失を計上

- ✓ 暗号資産の保有運用領域は、FCTを始めとした暗号資産の価格下落に伴い、経常損失を計上
- ✓ Hinode Technologies領域は、リバランスにより損失幅を一定抑制したものの、暗号資産市場の変動の影響を受け、経常損失を計上
- ✓ ファンド領域は、当社グループが運営するファンド（gCC 2号）から、持分法による投資損失が発生し、経常損失を計上

ネオクリプト事業の営業外損益イメージ（領域別）

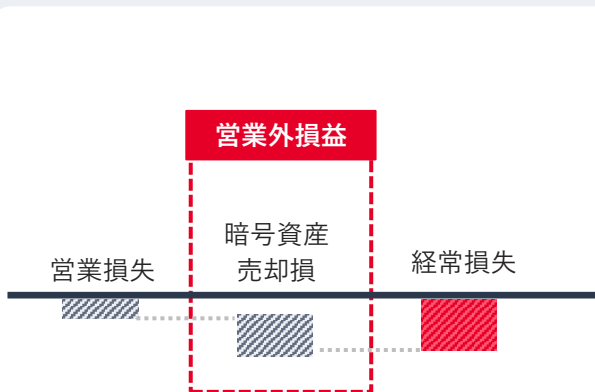
□ プラス要因
▨ マイナス要因

暗号資産の保有運用/ FCT, OSHI, BTC等



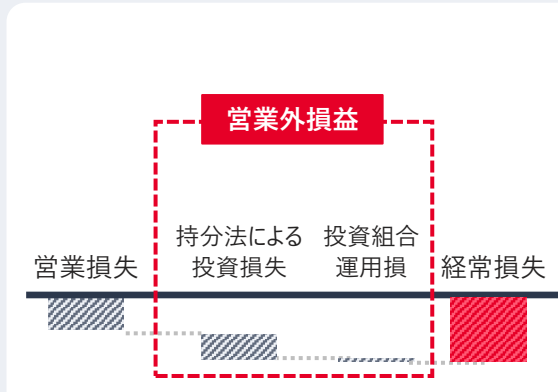
暗号資産の評価損により
経常損失を計上

Hinode Technologies/ 左記暗号資産以外



暗号資産の売却損により
経常損失を計上

ファンド/投資その他



投資損失等が発生したことにより
経常損失を計上

業績・財務トピックス 保有・運用暗号資産の状況

- ✓ 当社グループ（ファンドを含む）における保有/運用暗号資産残高の状況
- ✓ 8月1日、SBI Crypto Fund I が運用を開始し、運用暗号資産残高が増加（次回の決算説明資料より加算）

（百万円）

		投資対象	暗号資産残高		収益の種類
			Q 4 末時点	Q 1 末時点	
gumi グループ	gumi Hinode Technologies (gumi×TISI) 他グループ各社	上場暗号資産	14,133	13,300	値上がり益 運用益

		投資対象	暗号資産残高		収益の種類
			2026年 3 月末時点	2026年 6 月末時点	
ファンド	gumi Cryptos Capital 1号	上場暗号資産	5,629	4,021	値上がり益
	gumi Cryptos Capital 2号 DECIMA	非上場暗号資産	6,294	6,434	
	SBI Crypto Fund I (gumi × SBI)	上場暗号資産	—	数十億円規模	

- 上記ファンドの暗号資産残高は 6 月末時点の情報をもとに記載しており、会計監査を受けたものではありません
- 上記数値は、トークン取得を目的としたSAFE等による出資残高を含みますが、株式への出資残高は含まれておりません
- 各ファンドについては、当社の関連会社となり、当社の持分が各々異なるため、当社帰属分はそれぞれ異なります

「収益の種類の意味」

値上がり益 : 保有資産価格の上昇による利益
運用益 : ステーキング報酬などの継続収益

✓ 2026年7月末時点の保有暗号資産は133億円

✓ FCT 及び OSHI は、他取引所での取扱いが継続しているものの、一部取引所での上場廃止を受け、活発な市場の有無や評価方法（評価損の可能性等）を検討中

2026年7月末時点

暗号資産の銘柄	保有数量	貸借対照表価額（千円）	構成比
FCT	973,159,236	7,986,970	60.0%
OSHI	509,556,740	2,655,644	20.0%
BTC	112	1,113,569	8.4%
TRX	9,504,971	500,002	3.8%
XRP	1,979,448	333,244	2.5%
USDT	1,860,645	299,835	2.3%
SOL	24,673	290,076	2.2%
BNB	680	64,375	0.5%
その他	—	56,940	0.4%
合計	—	13,300,658	100.0%

■ 各事業の進捗

ゲーム収益に依存しない新体制へ移行

川上（IP獲得）から川下（周辺エンタメ）まで「面」で収益を獲得し、安定的な収益基盤へ

これまで

- ▶ ゲーム配信・ガチャ売上のみのヒット依存

収益源：

単一依存

- ・ ヒット作の成否に業績が大きく左右される
- ・ 市場成熟により競争が激化

今後

- ▶ 川上～川下までを網羅し安定収益を創出

収益源：

複数基盤

- ・ 複数の収益源で安定的にCFを創出
- ・ 開発リスクをヘッジしつつ、大型IPヒット時の上振れも確保

3つの収益エンジン

エンタメバリューチェーン全域をカバー

川上

川下

1 IP獲得(ゲーム外収益)

製作委員会出資・版權確保

- ・ SBIグループとの協働により、独占ゲーム化権を川上から確保し、版元としてロイヤリティ収益も獲得

2 ゲーム開発

オラドラ・ヒロアカ 等

- ・ 『オラドラ』の収益基盤を維持しつつ、『ヒロサバ』(2026年内配信)を始めとする大型IPを連続投入

3 周辺エンタメ

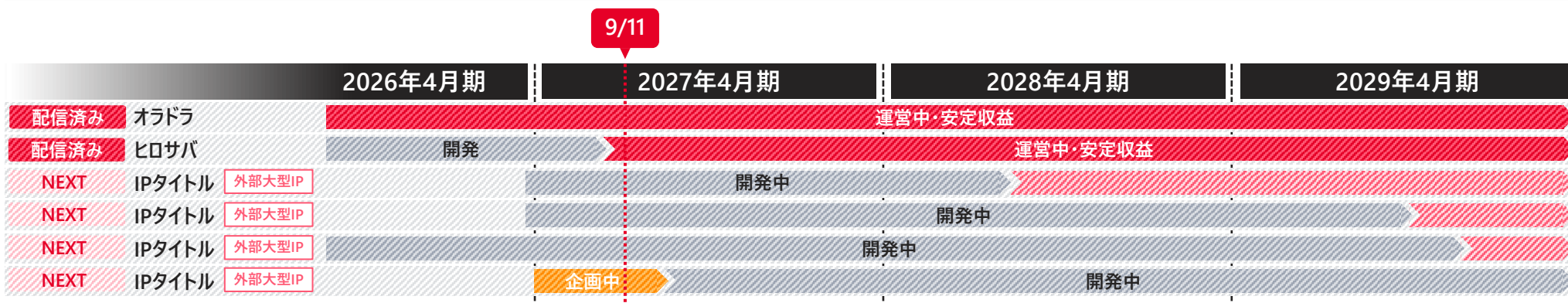
予測市場・公式二次創作等

- ・ 事業リスクを極小化したモデルで、ゲーム以外の収益領域を拡大

ゲーム開発を基盤としつつ、IP獲得および周辺エンタメ領域への事業展開を加速

	現在の事業基盤	今後の展開 検討中含む
IP獲得	アニメ製作委員会への出資を通じ、IPの権利を獲得	獲得したIPを起点としたゲーム化等、多様な収益機会を創出
ゲーム開発	- 既存タイトル＋新規タイトル『ヒロサバ』を8月6日にリリース - 開発パイプライン3本＋企画1本	新作タイトルの開発を継続、順次リリースを予定
周辺エンタメ	- ヨソクヒロバ、公式二次創作プラットフォーム、ジョジョグッズ販売 - STONE.Bとの共同事業を開始、プロジェクトへの出資・事業参画	- 既存サービスの拡大、新たなサービス領域への展開 - 事業パートナーと連携し、アーティスト・コンテンツ創出、イベント等へ事業領域を拡大

ゲーム配信スケジュール（受託除く）



ステーキング中心の運用から、XRPへの集中とオプション取引等による積極的運用へ移行

これまで

- ▶ 複数の暗号資産の保有並びにステーキング中心の運用

利回り：

低下

- ・マーケット悪化により利回りが大幅に低下
- ・現行モデルでは、十分な収益を確保できない構造

今後

- ▶ 日本におけるXRPの最大保有・運用事業者を目指す

利回り：

最大化

- ・gumi本体では、原則XRP一本化で運用効率を向上
- ・オプション取引等による積極的な運用で利回りを改善

3つの事業の柱

1

XRPの保有・運用

主軸

- ・価格を注視しつつ、XRPの取得を継続
- ・保有暗号資産をXRPへ適宜移行
- ・カバード・コール等のオプション取引で安定収益を創出

2

Hinode Technologies

ストック収益の積み上げ

- ・リバランス戦略・インフラ外販で収益を強化
- ・Web3会計SaaSによるストック収益の積み上げ

3

ファンド事業

アセットマネジメント事業拡大

- ・gumi Cryptos 1号、2号、DECIMA 1号の既存ファンドからの大型回収を目指す
- ・ファンドの業容拡大を受け、gumi Cryptos Capital 3号、DECIMA 2号の設立も検討開始
- ・SBI Crypto Fund I を早期に始動し、アセマネ事業を本格化。
ETF等の個人投資家向け商品も視野

6月に公表した事業方針に基づき各施策を推進、3つの領域における収益基盤の確立・強化を加速

現在の事業基盤

暗号資産の保有運用

- 保有暗号資産を活用した運用（AIの活用開始）

Hinode Technologies

- ノード運営事業における暗号資産の運用
- 暗号資産会計管理システムの提供

ファンド

- 既存VCファンドの運営
- アセマネファンド「SBI Crypto Fund I」を8月1日に運用開始

今後の展開

検討中含む

- 市場環境・流動性等を踏まえ、XRPを中心としたポートフォリオへの移行を検討
- AI運用の実績・ノウハウを蓄積
- システムコンサル事業への拡張
- 暗号資産運用の高度化
- 運用実績・ノウハウを蓄積
- ファンド事業の拡大に向けた取り組みを推進

ファンド

gumi
Cryptos
Fund I投資倍率 **5.9** 倍

AI投資

17 件 シリコンバレーAIスタートアップヘシード投資

■ 業績の推移

四半期業績の推移（売上高・利益）

ハイライト

- ✓ 『オラドラ』ハーファニバーサリー施策終了に伴う反動等により、前四半期比で減収（16.2億円、QonQ △30.8%）
- ✓ 開発費等は前四半期と同水準で推移したものの、減収に伴い1.8億円の営業赤字を計上

売上高

16.2億円

YonY +20.2%
QonQ △30.8%

営業利益

△1.8億円

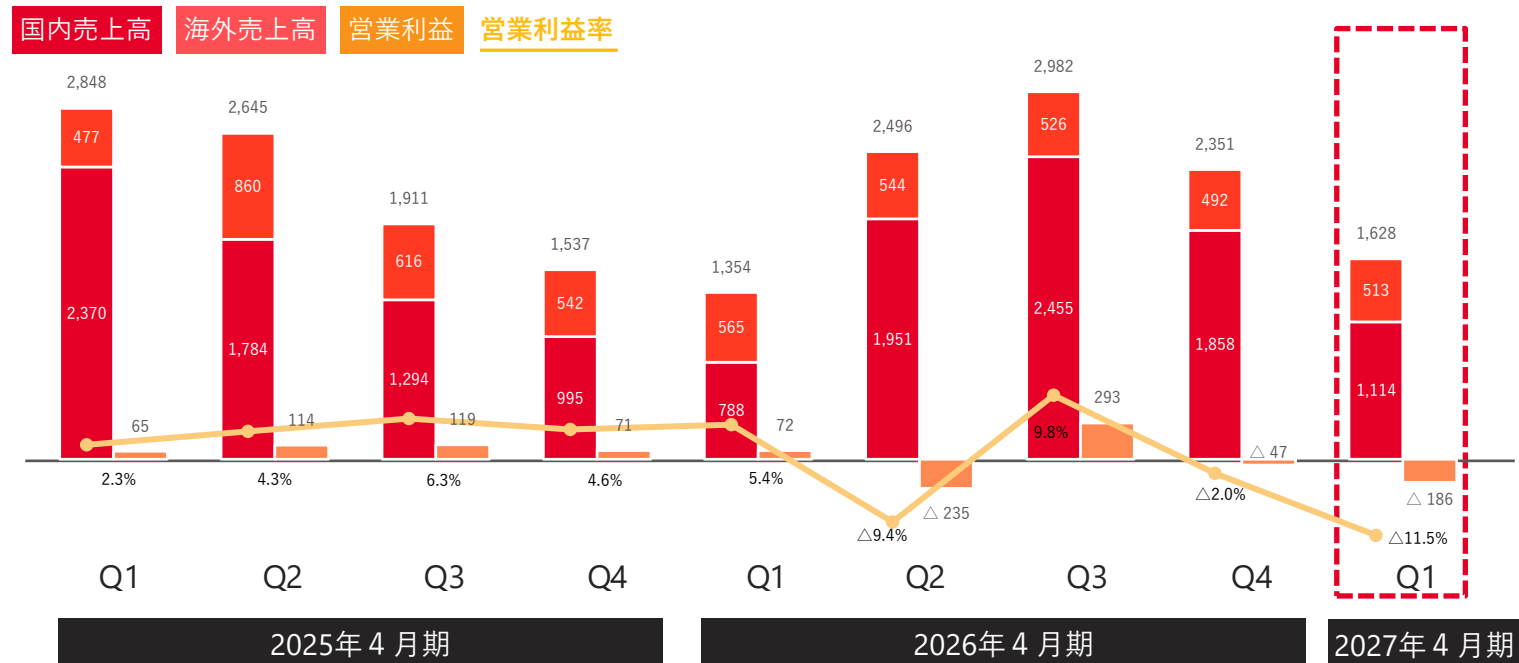
YonY -
QonQ -

海外売上高比率

31.5%

売上高及び営業利益

（百万円）



（百万円）	2027年4月期 Q1	2026年4月期 Q1	前年同期比	2026年4月期 Q4	前四半期比
売上高	1,628	1,354	+20.2%	2,351	△30.8%
売上原価	1,257	846	+48.6%	1,765	△28.8%
売上総利益	370	508	△27.1%	585	△36.7%
売上総利益率	22.8%	37.5%	-	24.9%	-
販売管理費	557	435	+27.9%	632	△12.0%
営業利益	△186	72	-	△47	-
営業利益率	△11.5%	5.4%	-	△2.0%	-
経常利益	△2,018	1,234	-	197	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	△1,868	1,247	-	△393	-

四半期業績の推移（費用）

ハイライト

- ✓ 開発費は、外注費や人件費に大きな変動はなく、前四半期と同水準で推移（8.6億円、QonQ △0.1%）
- ✓ 広告宣伝費は、前四半期における『オドラ』ハーフアニバーサリー施策の終了に伴い、前四半期比で減少（1.5億円、QonQ △23.3%）

開発費

8.6億円

YonY △0.1%

QonQ △0.1%

広告宣伝費

1.5億円

YonY +262.8 %

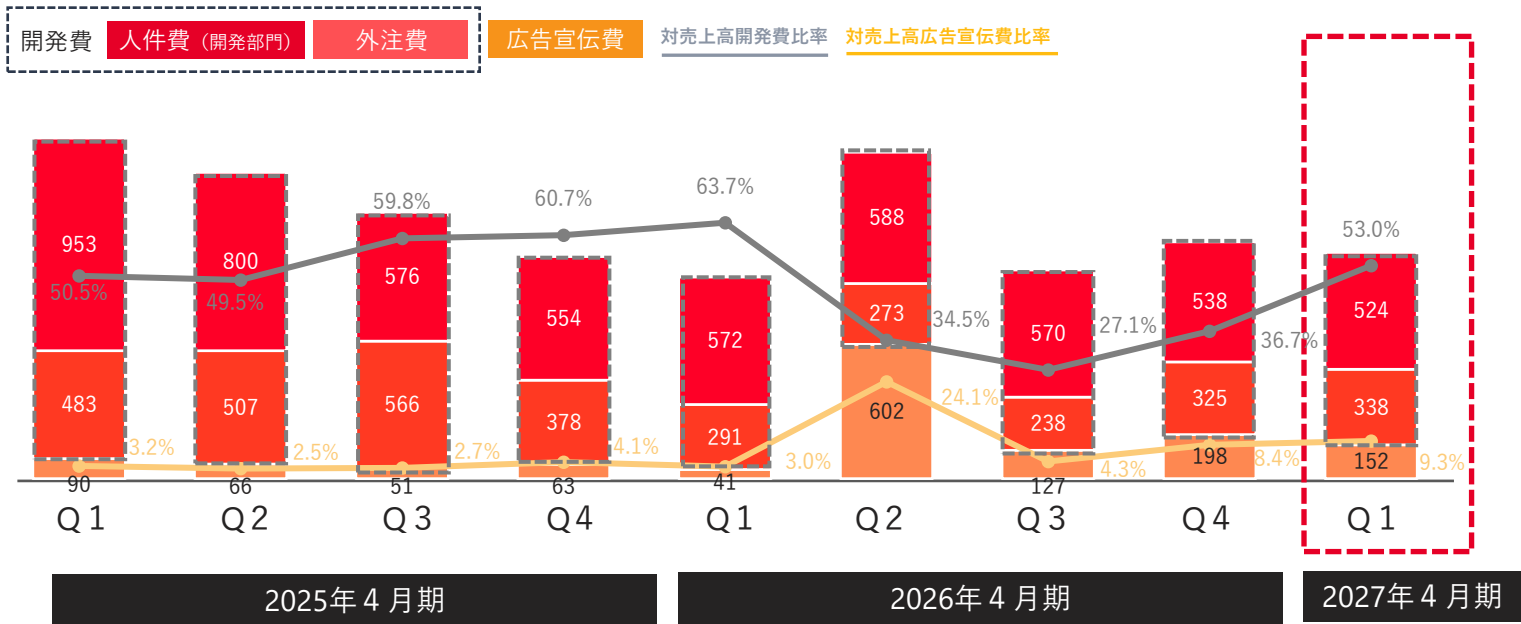
QonQ △23.3%

対売上高広告宣伝費比率

9.3%

開発費及び広告宣伝費

（百万円）



（百万円）	2027年 4 月期 Q 1	2026年 4 月期 Q 1	前年同期比	2026年 4 月期 Q 4	前四半期比
売上原価	1,257	846	+48.6%	1,765	△28.8%
支払手数料	361	228	+58.6%	682	△47.0%
人件費	524	572	△8.4%	538	△2.6%
外注費	338	291	+16.2%	325	+4.1%
通信費	165	115	+43.0%	144	+14.4%
その他	△133	△361	-	73	-
販売管理費	557	435	+27.9%	632	△12.0%
広告宣伝費	152	41	+262.8%	198	△23.3%
人件費	200	155	+28.8%	245	△18.3%
その他	204	238	△14.1%	189	+8.1%

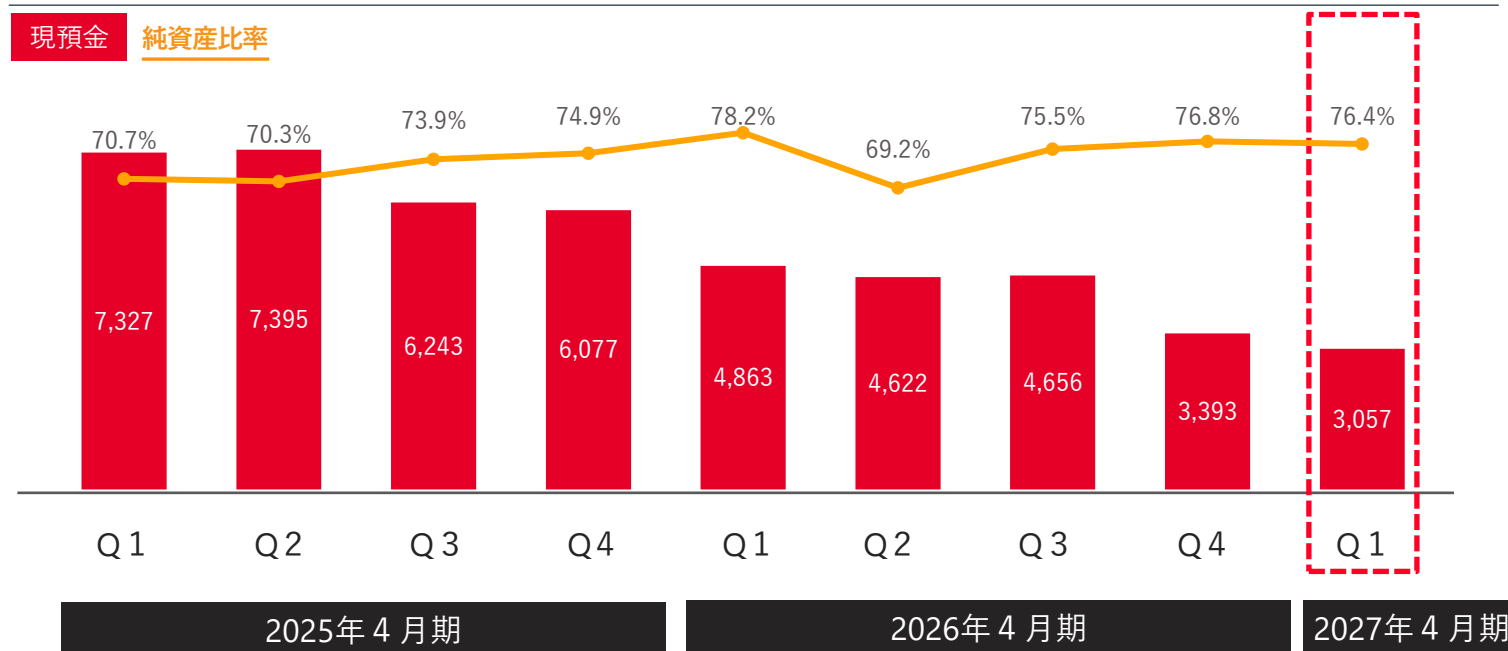
四半期業績の推移 (BS)

ハイライト

- ✓ 現預金は、当四半期における営業赤字の計上や事業投資等により、前四半期比で減少（30.5億円、QonQ △9.9%）
- ✓ 純資産比率は76.4%となり、引き続き高い財務健全性を維持

現預金及び純資産比率

(百万円)



現金及び預金

30.5億円

YonY △37.1%

QonQ △9.9%

純資産比率

76.4%

(百万円)	2027年 4 月期 Q 1	2026年 4 月期 Q 1	前年同期比	2026年 4 月期 Q 4	前四半期比
流動資産	17,976	16,275	+10.5%	20,443	△12.1%
現金及び預金	3,057	4,863	△37.1%	3,393	△9.9%
固定資産	8,641	8,577	+0.7%	8,377	+3.1%
総資産	26,617	24,852	+7.1%	28,821	△7.6%
流動負債	5,897	4,542	+29.8%	6,224	△5.2%
固定負債	390	868	△55.1%	462	△15.7%
純資産	20,329	19,441	+4.6%	22,134	△8.2%

四半期業績の推移（人員数）

ハイライト

- ✓ 人員数は概ね横ばいにて推移
- ✓ 今後も必要に応じて体制の見直しを行い、コストの最適化を図る

人員数（連結）

324人

国内人員

291人

海外人員

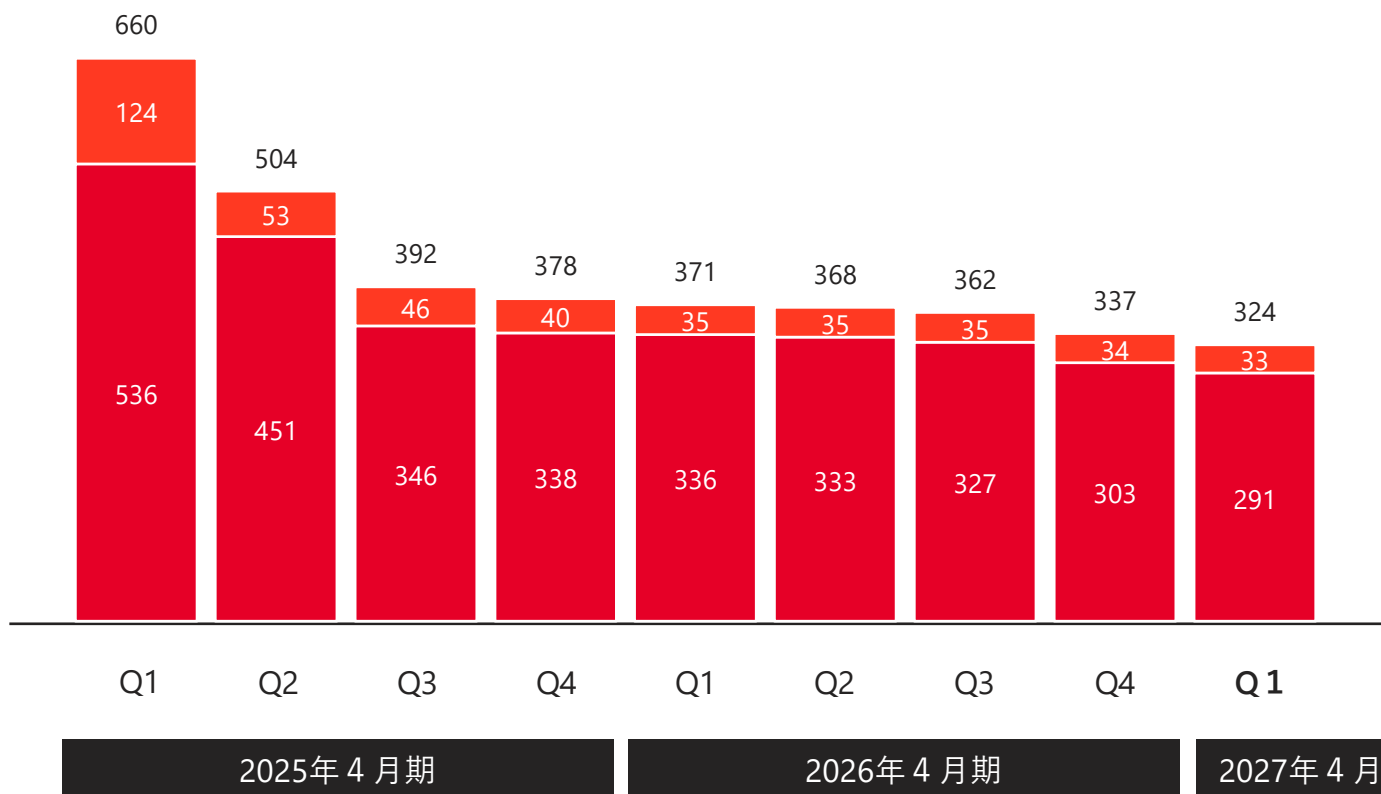
33人

人員数（連結）

（人）

国内拠点

海外拠点



■ Appendix

主要な運営タイトルの状況

タイトル名	配信時期	サービス状況
クリスタル オブ リユニオン	2016年 4 月	✓ 有力IPとのコラボや季節イベント等を実施 ✓ 季節イベント等を予定
ラグナドール 妖しき皇帝と終焉の夜叉姫	2021年10月	✓ 季節イベント等を実施 ✓ 5 周年記念施策や漫画家・著名クリエイターとのコラボ等を予定
ジョジョの奇妙な冒険 オラオラオーバードライブ	2025年 9 月	✓ 季節イベント等を実施 ✓ 1 周年記念施策等を予定
僕のヒーローアカデミア UNITED SURVIVAL	2026年 8 月	✓ 2026年 8 月 6 日リリース - 全世界100万ダウンロードを突破 ✓ 様々なイベント、アップデートを予定

本資料は、株式会社gumi（以下「当社」といいます。）並びにその子会社及び関連会社（以下、当社と併せて「当社グループ」と総称します。）の財務情報、経営情報等の提供を目的としたものです。

本資料に記載されている当社グループ以外の企業等に関わる情報及び当社グループ以外の第三者の作成に係る情報は、公開情報等から引用したものであり、当社は、かかる情報の正確性、完全性及び適切性等について何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。

なお、本資料に含まれる全ての情報は、予告なしに変更される場合があります。

本資料は、当社の有価証券の取得に係る投資勧誘を目的としたものではなく、当社の有価証券への投資判断にあたって必要な全ての情報が含まれているわけではありません。



～ すべての人々に感動を ～